

## 第15回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年9月9日（水）午後2時42分
- 2 閉会日時 令和2年9月9日（水）午後3時8分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
3番 佐藤 武君      4番 佐々木雄司君      5番 光成 良充君  
6番 保田 守君      13番 福木 京子君      15番 岡崎 達義君  
16番 下山 哲司君  
18番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君      副 市 長 前田 正之君  
副 市 長 川島 明昌君      教 育 長 土井原康文君  
総合政策部長 安田 良一君      総 務 部 長 塩見 誠君  
教 育 次 長 有馬 唯常君      総 務 課 長 小坂 憲広君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      副 参 事 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 赤磐市議会委員会条例の一部改正について  
2) 日程追加について
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後2時42分 開会

○委員長（下山哲司君） それでは、皆さんお疲れさまでございます。

ただいまから第15回議会運営委員会を開会いたします。

初めに、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん、決算委員会、大変御苦労さまでございました。

本日の議会運営委員会というのは、ちょっとイレギュラーな形なんですけど、前回の議運で決定いたしまして、全員協議会のほうへ、赤磐市議会の委員会条例の改正についてお諮りをというか、御報告をした中で、様々な御意見がございました。中には、趣旨はもう皆さん全員が賛成だということだけでも、施行する日にちについては考えてもらえないだろうかという御意見がありました。しかし、その前の全員協議会の中で、私のほうからもその結果について御報告をして、お諮りをした中では御異議、御異論ないまま、じゃあ議会運営委員会のほうでということを進めさせていただいた結果をもつての御報告でしたけども、様々な御意見がございましたので、議員の皆様御意見を尊重して、再度この中で皆さんにそのことについての御議論をいただいて、最終決定をしていただきたいというふうに思っておりますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、赤磐市議会委員会条例の一部改正についてということで、全協のほうに案を示して、一応皆さんに御同意を得てから、議運で決定して、再度全協に報告したんですが、その報告の際に、案を示したときには何も言われなかったんですが、その内容について御異議を言われた方が何人かおられました。それについて、皆さんに再度御協議をお願いしたいということで、というのが、決定したものを、順序を踏んできちっとしてあることが、途中からの意見で変えるというわけにもいきませんので、皆さんの御意見をしっかり言うていただければ、また全協の席で報告をさせてもらいたいというふうに思いますので、お願いいたします。

それでは、御意見をお願いいたします。

○委員（佐藤 武君） では、私が言います。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） まず、全員協議会の中で、それぞれ委員の皆さんから御意見がありました。そうした中で、いろんな御意見があって、施行日を検討すべきだ、再検討すべきだという意見がありました。その中で、私も前回の議会運営委員会の中で、施行日については、まあ私が発言したような形になったんで申し訳ないなと思いつつながら、全員協議会の中でそれぞれの委員さんの発言を聞いておると、やはり総務委員さんの中でも、実盛さん、大口さん、永徳さん、北川さんも含めて、施行日は考えるべきだという御意見が出てきたんですね。だから、

総務委員の中で、総務委員会が所管が変更されるということを考えれば、委員の皆さんからそういうふうに施行日は考えるべきだという御意見があったので、できれば再考をしていただければいいかなという思いです。改めて今日協議をするという話になったんですけど、示した案でいくのであれば、もうあの場で、申し訳ないけど押し切っていただきたかったなという思いはあるんですが、持ち帰って検討するということでしたので、再度皆さんの意見を聞いてという委員長の御意見もありました、議長からも御意見があったんで、あえて再度協議をしていただければいいかなというふうに思います。

それからもう1点、全員協議会の中で、1つ非常に気になった部分があるんですが、原田議員から、所管を変更する理由として、百条委員会が絡んで、それを離すためにというような発言があったんですが、あれが公式の場で発言されるということは、ちょっと我々が聞いてとった、まあ私と、少なくとも光成委員は聞いてなかったと思うんですけども、そういう認識がほかの議員はされとったかなという思いがちょっとしたんですけど、委員長の認識と原田議員の認識が異なるか一緒なのか分かりませんが、そこら辺もちょっと確認できればと思います。

○委員長（下山哲司君） 今、佐藤委員の言われたことに対して、原田議員の問題ですが、彼女の場合はその場で……。

○委員（佐々木雄司君） 全員から聞いてからのほうが。

○委員長（下山哲司君） いや、それだけ今言ようる。

○委員（佐々木雄司君） ああ、それだけ。

○委員長（下山哲司君） はい、それだけです。あの方はああいう、いつもがあのとおりですから、皆さんのあれがじゃなしに、自分の思うたことだけを言われたというふうに受け取っておりますので、私はその後すぐに、そういうことは理由ではありませんというて全協の席で言うとりますから、それはそれで済ませていただきたいというふうに思います。

○委員（佐藤 武君） ちょろっと聞こえました。

○委員長（下山哲司君） そういうことでお願いします。

それでは、順番にお願いできますか。

○委員（岡崎達義君） 何をどう言えばいいかわからんけど、私は、要するに教育委員会で今回不祥事がありましたよね。教育委員会の不祥事を受けて、教育委員会所属の職員の方が、やはりそのままでは都合が悪いだらうということが考えられますので、教育委員会は総務と分割してほかへ持っていったほうがいい。それで、ほかへ持っていくとすれば、厚生のほうへつけたほうがいいんだろうなというようなことを私は考えてます。ですから、そのほうがいいんじゃないかなというふうに考えてます。これは原田議員も言われてたことなんで、やはりそこらあたりはきちっと考えて、教育委員会がこういう今回不祥事を起こしたということを、もう一番に考えるべきだとは、私もあのとき思いました。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今回の委員会条例の改正につきましては、今まで厚生常任委員会の中で委員会を開いてる話の中で、児童福祉の関係で話をしていく中で、厚生の部分と教育委員会の部分で分けて話をしないといけないのがあったという経緯があり、私たちの感覚の中では、一緒になっとればまとめて話ができるのになあという感覚を持っておりました。今回、こういう話合いのときに、今現状コロナウイルス関連の話がございます、子供を総合的に見るためには、やっぱりここで変えて、コロナの対策を1つの委員会でできればいいのかなと思ってるので。ただ、ここで執行部の方はどういう感覚を持っておられるのかわからないですけども、ここで私たちのほうでこういうふうに決めさせていただいて、執行部と一緒にまたこのような形でできればいいのかなとは思っておりますので、日付については、もうコロナのこともありますので、できればこの日がいいのかなと私は思っております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとう。

福木委員。

○副委員長（福木京子君） 私は、これまで総務文教の分野、議論する分と厚生とで、全体の比率みたいな分が、総務文教は相当分野が多いというふうには思っておりました。それから、これまでのいろんな流れの中で、こういうふうに出てきたんだというふうには薄々と感じておりました、それをみんなが本当にどうなのかということで提案されたときに、あまりみんなが意見を言われなくて、割とスムーズに通っていったというのがちょっと引っかかったんですが。心配は、急いでした場合に、執行部の対応が本当にそれで間に合うのかどうか、そこを私は一番心配したところで、聞いたら、それは対応できるというふうにとこかで返答をいただいとったということと、議運で議論して、全協で諮って、もっと意見が出るかなあと思とったんですが、出なかったと。だから、そういう意味では、手順は踏んできたんだけど、議論が少し不足してる面はありますけど、これまでの行政の一連の流れの中で、こういう問題が出てきてるといふふうには、私は判断はしております。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 前回までを振り返りましたら、決定すべき議会運営委員会が決められた内容です。それを全員協議会で決まった内容として御報告したら、異論が出てきたと、エクスキューズが入ってきたというところで、1回ちょっとどうなのかということで、今ここでお話をしてるわけですけど、もう1回決まって報告をしてる内容ですから、議会運営委員会としましては、その責任において粛々とお仕事をすればいいんじゃないかなあというふうに思ってます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

○委員（保田 守君） 同感です。

○委員長（下山哲司君） それじゃあ、同じ御意見ということでよろしいですか。

○委員（保田 守君） はい。

○委員長（下山哲司君） それでは……。

○委員（佐藤 武君） 委員長、ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ちょっと確認したいんですが、副委員長が言われた、執行部の対応も可能ですよという、今、説明があったんだけど、それはどこで確認とったんですか。

○委員（佐々木雄司君） 僕が言いました、それは、ここでやり取りしました。

○副委員長（福木京子君） ああ、そうか。私はどこかで聞いたというか、ここで聞いたか、ひょっとして議長と委員長との打合せの中で聞いたか、どちらかで聞いたります。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） よろしい。

○委員長（下山哲司君） 私の認識としては、この委員会の一部改正については、議会運営の問題なので……。

○委員（佐藤 武君） ちょっと、待ってください。

確認は取られたんですか、今の報告は。

○委員（佐々木雄司君） えっ。

○委員（佐藤 武君） あなたが聞いたのは。

○委員（佐々木雄司君） 暫時休憩してください。

○委員長（下山哲司君） 暫時休憩します。

午後 2 時 54 分 休憩

午後 2 時 56 分 再開

○委員長（下山哲司君） それでは、再開します。

今の内容について、まとめて全協のほうで報告させていただきますので……。

○委員（岡崎達義君） ちょっと。

○委員長（下山哲司君） 岡崎委員。

○委員（岡崎達義君） 昨日、佐藤委員が言われたの、施行日を考えるべきだという話があったでしょう、それをいつするかっていうのもここで決めといたほうがいいんじゃないですか。前出したのと同じように、11月1日からですか、それをするのか、それとももっと延ばすのかっていう。

○委員長（下山哲司君） それでは、その件についてお諮りします。

前に佐藤委員のほうが、私は10月1日からというお話をさせていただいたときに、佐藤委員のほうが、そりゃあちょっと11月のほうがいいんじゃないかという御意見がございまして、

ほんならそういう方向でということで、一応落ち着いて報告させてもらいました。案を出したときには、日にちのときは空けて皆さんに報告させていただいて、案として後から今度出したんで、最初に出したときには日にちは入ってません。それで、この議運をして、11月1日からということにして、次の全協で報告させてもらったんで、1回で終わつとるわけでないんで、議運としてはせにゃあならんことはきちっとしとりますので、そういうことできちんとやらせていただくということで、佐藤委員、よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） よろしいですかと言われれば、私はあえて、さっきも申し上げましたけど、総務委員さんが、下山委員長を除いて、私は11月でいいんじゃないですかと言うた手前、非常に発言しにくいんですけれども、そういう4人の委員さんが、施行日を再考してほしいということを言われとるから、私は取りあえず委員長としてそれを総務委員会の中で、委員長不信任案を出される可能性もなきにしもないので。だから、そこまで全員協議会の中で反対意見が出ました、そして赤磐市議会の委員会条例の改正で、賛成多数ですとか、ぎりぎりでも可決したんだということをしたのでは、ちょっと悔いを残すかなという思いがあるんで、総務委員さんの意見も含めて、ここで改めて持ち帰って協議しますという全員協議会の中でそういう発言をされたんで、改めて私は意見として申し上げてるということですので。皆さんの総意が10月1日、11月1日施行でいいというんであれば、それはもう多数決で決まるんで、それはもうそれ以上言いませんけど、そういう委員さんの反対が結構あるということだけは、御認識いただきたいということです。

○委員長（下山哲司君） 私も総務委員会なんで、その辺はよく理解しとんですが、この前の全協のときに、後で皆さんに私がいろいろ答弁をさせてもらうように、一応今回は議長、副議長が仕切られとった場ですから、議長、副議長の顔を立てたということで、議運のほうを立てたというふうに、私は理解させていただいて結構だと思うんですよ。一発で勝負しとんなら、言われるのはありますけど、案を出して、日にちも入ってないのにして、次に出したもんが今度はいけんというような話にはならんので、そういうことをやりようと、もう議運の体をなさなくなるんで、そういうふうに御理解もいただきたいという。

○委員（佐藤 武君） すいません。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） この間全協で、いろんな意見がありました。今、福木さんが言われた所管が重い軽いの御意見もあって、松田議員からは、厚生が軽いという表現はおかしいんじゃないですかという意見もありました。それから、岡崎副議長が今言われたのは、私はあれ原田議員と一緒に感覚かなというふうに思ったんだけど。そういうことで、10月1日から施行するという明確な理由というのは、どういう理由を全協で言われるんですか。もうそれぞれが言わ

れた理由を言うんですか。

○委員長（下山哲司君） 11月1日というのは、この前もお話しさせていただいたように、10月1日、11月1日というような話が、4月1日もありました、来年の。ですが、その中で、11月1日でいこうということに関しては、もう議会のメンバーが総替えするんなら、委員さんのメンバーも変わるかもしれませんが、ほぼ同じ委員会に何代も4期今やっとなんですが、大体2割ぐらいしか代わられない、新人の人と。じゃから、もうほとんどそういうところへ収まっとなんで、どうせここでやれば、新年度予算も今度はやるようになるんで、そうすれば次もスムーズに行くんじゃないかと。私、そりゃあ個人の意見ですよ。じゃから、今の私の立場としたら、皆さんの意見を聞かにゃあいけんのですけど、議運の委員長として、一旦筋を通してしたものを、途中で変えるというのは、私はもうそういうことには、議会運営として成り立たないようになるんで、それだけは認めるわけにはいきません、委員長としては。そういうように考えてます。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ちょっと確認といたしますか、私の意思表示のほうをさせていただきたいんですが、先ほど委員長のほうが議長と副議長の顔を立ててみたいな御発言がありましたけど、私はそんなつもりもなくて、みんな決めて、話し合っけて決めたもんだというふうな認識を持っていますし、私は議長の顔を立てたつもりもないし、副議長の顔を立てたつもりもなくて、自分の意思で発言しとりますので、その点だけは主張させといてください。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 私も心、そういうように変えますから、そういうことでよろしいですか、この件は。今、皆さんの御意見をまとめて報告させていただきます、次の全協で。そういうことでよろしいですか、この件は。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは次に、協議事項2番目、日程追加について。

市長から追加議案が提出されるということですので、まず説明をお願いいたします。

塩見総務部長。

○総務部長（塩見 誠君） それでは、お手元の資料の2ページに、追加日程のほうがございます。2点ございます。それぞれ説明をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

まず、1番目に、吉井加工直売施設の指定管理者の指定についての議案の追加提案について説明をさせていただきます。

吉井加工直売施設の指定管理者の指定につきましては、現在株式会社ファームを指定をいた

しておりましたが、このたび親会社である株式会社ワールドインテックが、株式会社ファームを吸収合併するため、指定管理者の変更が生じますので、指定管理者の指定についての議案を提案をしたいと考えております。

指定の期間といたしましては、現指定期間の残期間ということで、令和2年10月1日から令和4年3月31日を予定をさせていただいております。

次に、2件目の、令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）についてでございますが、これにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けまして、この秋、冬に新型コロナウイルスと同時流行が懸念をされていますインフルエンザ対策といたしまして、重症化リスクの高い高齢者等の予防接種費用を無償化とする考えでございます。新型コロナウイルスと見分けがつかないインフルエンザ患者を減らし、同時流行を防ぐとともに、医療現場の負担を軽減するというものでございます。今回、これに関わります経費を補正予算するものでございます。

なお、議案は後日配付の予定でございます。

急ではございますが、関係議案を最終日に追加提案をしたいと考えておりますので、御理解と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○委員長（下山哲司君） それでは、事前に協議いたしておりますので、議長のほうから案を少し申し上げますので。

議長。

○議長（金谷文則君） それでは、急なことなのですが、最終日に、今執行部のほうから、2つの議案についてお願いをしますということでございます。

まず、産業建設常任委員会のほうの所管であります吉井の加工直売所の件ですけれども、これは親会社へ吸収合併ということで、名前が変わってくるということでございます。本来なら、全てのものがそれぞれの委員会に付託をして、それぞれ審査をしていただいているということでございますが、両方とも最終日のかなり今回もハードな予定がされとる中でございますし、議員の皆さん方に、委員長さんに少しお話を申し上げた結果、その内容としては全体でやっていくのがよかろうというような御意見もいただきましたので、議長判断といたしまして、この2つの議案については委員会付託を省略して、当日にその日でやっていただくと、すぐにやっていただくということで、皆さんにお願いをしたいというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、議長のほうから、各委員長さんには許可をいただいたということで進めさせてもらってよろしいですか。

委員長さん、よろしいですか。

○委員（佐々木雄司君） はい、産業建設常任委員会としてはそのとおりです。



○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（光成良充君） はい、同じく厚生も同じようにさせていただきます。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことで。

それでは、日程について、1回事務局から説明をお願いします。

局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、日程について御説明させていただきたいと思えます。

先ほど、総務部長のほうから説明がありましたとおり、吉井加工直売施設の指定管理者の指定について及び令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）、こちらが追加で提案されますので、本会議最終日、9月29日の日程といたします。

この案件につきましては、先ほど御協議いただきましたとおり、提案説明、細部説明の後、直ちに質疑を行い、委員会付託を省略し、討論、採決を行います。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明が終わりました。

ただいまの説明について、委員さんから何か質疑がございませんか。

よろしいですか。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） さっき部長のほうから御説明があったんですが、高齢者という御説明だったと思いますが、具体的な年齢は幾つからなのでしょう。それと、何名分ぐらいになるのでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 中身は議運ですから今日はやりませんので。

○委員（佐藤 武君） 分かりました。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） 年齢ぐらいはいいんじゃないですか。

○委員長（下山哲司君） 年齢は60歳ですか。

○議長（金谷文則君） まだ、議案の細部まで詰めてないので、日程の話なので。

○委員（佐藤 武君） 分かりました。

○委員長（下山哲司君） そういうことで御理解ください。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、以上をもちまして第15回議会運営委員会を閉会したいと思います。お疲れさまでした。

午後 3 時 8 分 閉会